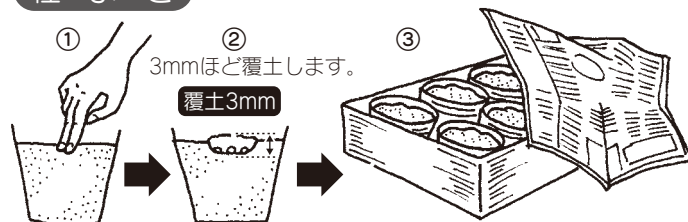


カリフラワー

1 苗の準備

種まき



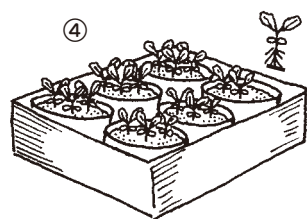
① 指先で軽くおさえ、浅いくぼみをつけて1穴に3粒の種をまき覆土します。

② 3mmほど覆土します。
覆土3mm

③ 発芽するまで新聞紙をかぶせておきます。

間引き

発芽そろいの頃、2本に間引きします。更に、本葉2枚の頃、1本に間引きします。



本葉5～6枚の苗に仕上げます。

2 畑の準備

土作り

カリフラワーは比較的多肥を好む作物です。植え付けの2週間前には、苦土石灰、堆肥をまき、しっかり土作りをします。

土作り

・JAファーム粒状苦土石灰：
1㎡あたり100g
・JAファーム牛ふん入りパーク堆肥：
1㎡あたり2～3kg

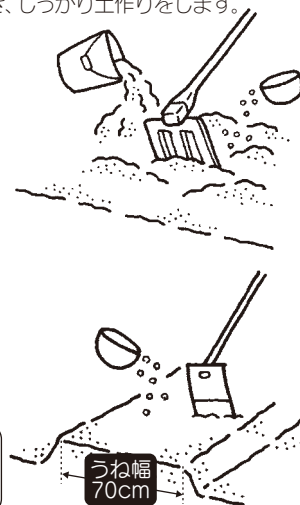
元肥・うね立て

植え付けの1週間前までに元肥をまき、うね立てを行います。

※アブラナ科の作物の連作は避ける。(2～3年)

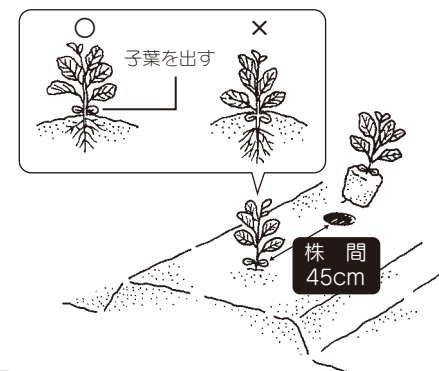
元肥

・JAファームやさいの元肥：
1㎡あたり200g
(ひと握り約40～50g)



3 植え付け

本葉5～6枚で植え付けます。深植えに気をつけ、根鉢を崩さないように植え付けます。植え付け後は、たっぷりかん水をします。



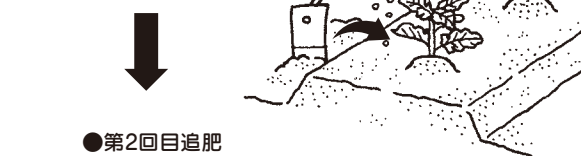
4 敷わら

定植後、株元にわらや刈り草などを敷いて乾燥を防ぎます。

5 追肥・土寄せ

1回目の追肥は、植え付けの1週間後に行い、その20日後に2回目の追肥と土寄せを行います。

●第1回目追肥
(植え付け1週間後)
「JAファームやさいの追肥S」
1㎡あたり約20gをまき、土寄せを行います。



●第2回目追肥
(1回目の20日後)
第1回目と同量の追肥を行い、併せて土寄せも行います。

6 病気・害虫

主な病気・虫

・軟腐病

地ぎわの葉柄や茎がドロドロになり悪臭を放つ病気です。

・黒腐病

葉にV字形の黄褐色の病斑が現れ、場合により花蕾が黒ずみます。

・コナガ

幼虫は小さいのですが動きが活発です。

・オオタバコガ

幼虫には黒点が並んでいて、毛が生えています。葉や花蕾部を移動しながら食べます。

・タマナギンウバ

不規則な穴を葉にあけます。幼虫はシャクトリムシのように歩きます。

2つの病気とも、高温や多湿の時期に発生が多く、傷口から感染することが多いので、病害や害虫の防除は定期的に行いましょう。

7 収穫

花蕾が卵くらいの大きさになったら着色・寒さから守るため、花蕾を包むように葉を束ねてひもで結ぶか、葉を折って花蕾を覆いましょう。花蕾の大きさが15cmほどになったら収穫します。収穫してから時間がたつと食味・栄養価が落ちるので早めに利用しましょう。

オレンジ・バイオレットの品種は結束や葉で覆う必要はありません。



花蕾を包むように葉を束ねる



または、葉を折って覆う
(強風のときは注意しましょう)

科名	アブラナ科
原産地	地中海東部沿岸
連作障害	あり(2～3年)